

必修の基本的事項

基準値を理解するべき検査項目 (基準値を明記しない検査項目)

○ 血液学検査

分類	項目
血球検査	赤血球
	ヘモグロビン<Hb>
	ヘマトクリット<Ht>
	白血球
	白血球分画
	血小板
能・凝血検査	プロトロンビン時間<PT>(PT-INRを含む)
小・線板機溶	

○ 免疫血清学検査

分類	項目
マーカー炎症	C反応性タンパク<CRP>

○ 生体機能検査

分類	項目
ガス分析	pH
	PaCO ₂
	PaO ₂
機能呼吸	経皮的動脈血酸素飽和度<SpO ₂ >

○ 生化学検査

分類	項目
タンパク分画	総タンパク<TP>
	アルブミン<Alb>
色素生体	総ビリルビン
	直接ビリルビン
ソザイム	AST
	ALT
成分含窒素	尿素窒素<BUN>
	クレアチニン<Cr>
糖代謝関連	{隨時}血糖
	空腹時血糖<FBS>
	HbA1c
謝関連	総コレステロール<TC>
	トリグリセリド<TG>
酸塩基平衡	Na
	K
微量元素	Fe

○ 栄養学検査

分類	項目
血液生化学	総タンパク<TP>
	アルブミン<Alb>

大項目	中項目	小項目
1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム 約2%	ア 医の倫理、生命倫理	a 患者の人権と医療 b 医療者の倫理(ニュルンベルグ綱領、ジュネーブ宣言など)
	イ 歯科医師と患者・家族との関係	a 患者中心の歯科医療(インフォームド・コンセント、セカンドオピニオンなど) b 患者の権利
2 社会と歯科医療 約11%	ア 患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景	a 疾病・障害の概念・構造(社会的関わり) b QOL<quality of life> c リハビリテーションの理念 d ノーマライゼーション、バリアフリー e 患者・障害者の心理と態度 f 国際生活機能分類<ICF>、国際障害分類<ICIDH> g 疾病構造、健康格差
	イ 保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済	a 歯科医師法、歯科衛生士法、歯科技工士法 b 医療法 c 介護保険法 d 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律 e 保健・医療・福祉・介護の制度と職種 f 地域包括ケアシステム g 地域歯科保健活動での職種の連携 h 国民医療費、社会保障費
	ウ 臨床試験・治験と倫理	a 臨床研究、疫学研究の倫理指針 b GCP<医薬品の臨床試験の実施の基準>
	エ 医療の質の確保	a 患者満足度 b 患者説明文書、同意書 c クリニカルパス
	オ 医療事故の防止	a 医療事故と医療過誤 b 医療事故の発生要因 c 患者の安全管理(誤飲、誤嚥、誤薬、出血、外傷、感染、被曝、目の保護) d 医療者の安全管理 e 医療危機管理<リスクマネージメント> f ヒヤリハット、アクシデント、インシデント、医療事故報告書、インシデントレポート g 医療安全対策(医薬品・医療機器の安全管理) h 医療事故調査制度
	カ 院内感染対策	a 標準予防策<standard precautions> b 抗菌薬の適正使用<antimicrobial stewardship ; AMS>と薬剤耐性<antimicrobial resistance ; AMR> c 医療廃棄物処理 d 院内感染対策委員会
	キ 医療裁判	a 医事紛争、賠償 b 医療訴訟(刑事裁判、民事裁判)
	ク 医薬品医療機器による健康被害	a 副作用・有害事象への対応(報告義務、治療、補償)

大項目	中項目	小項目
	ヶ 血液・血液製剤の安全性 ｺ 診療録、診療情報の記録と管理	a 保管、管理 a 診療に関する記録(診療録、処方箋、検査所見記録、画像記録、手術記録、入院診療計画書、退院時要約、技工指示書、模型)の管理・保存 b SOAP(主観的所見、客観的所見、評価、計画) c 個人情報の保護 d 診療情報の開示
3 チーム医療 約 3 %	ア チーム医療の意義 イ チーム医療における歯科の役割	a 多職種連携 b 医科歯科連携 c 病診連携 d 医療チームの構成員と役割 a かかりつけ歯科医 b 在宅医療(訪問歯科診療を含む) c 情報提供 d セカンドオピニオン
4 予防と健康管理・増進 約 5 %	ア 健康増進と疾病予防 イ 地域保健にかかる法規と制度 ウ 予防手段 エ 口腔健康管理	a 概念 b プライマリヘルスケア c ヘルスプロモーション d 健康日本21(第二次) e メタボリックシンドローム f 行動レベル、行動変容 a 地域保健法、健康増進法、歯科口腔保健の推進に関する法律 b 母子保健 c 学校保健 d 産業保健 e 成人・高齢者保健 f 健康危機管理 a フッ化物応用 b 保健指導 c 口腔清掃 a 口腔衛生管理のための口腔ケア b 口腔機能維持向上のための口腔ケア c 病期に応じた口腔ケア
5 人体の正常構造・機能 約16%	ア 全身・口腔の構造と機能	a 生体構成成分の構造・機能 b ゲノム、遺伝子、染色体 c 細胞・細胞小器官の構造と機能 d 組織(上皮組織、結合<支持>組織(血液を含む)、筋組織、神経組織) e 器官系(骨格系(関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系<脈管系>、消化器系(歯および唾液腺を含む)、造血管系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覺器系) f 免疫(免疫担当細胞、自然免疫、体液性免疫、細胞性免疫、粘膜免疫)

大項目	中項目	小項目
	イ 全身・口腔の生態系	a 常在微生物叢 b 微生物の構造・一般性状 c プラーク〈口腔バイオフィルム〉
6 人体の発生・成長・発達・加齢 約5%	ア 人体の発生	a 生殖子形成、排卵、受精、着床 b 二層性胚盤、三層性胚盤、胚子期、胎児期
	イ 人体の発育	a 発育区分(出生前期、新生児期、乳児期、幼児期、学童期、思春期) b 発育期の特徴 c 成長・発達の特徴(身体成長、原始反射、運動の発達、社会性の発達、言語の発達、情動の発達) d 小児の生理的特徴
	ウ 口腔・顎顔面の成長・発育	a 歯・歯列の発育(発育時期、萌出時期・順序、歯の脱落・交換時期、歯齶) b 上顎骨・下顎骨の成長の特徴(成長の時期、骨形成様式)
	エ 加齢、老化	a 細胞・組織・臓器の加齢現象(歯および口腔を含む) b 高齢者の生理的特徴 c 高齢者の心理的特徴
7 主要な疾患と障害の病因・病態 約12%	ア 疾病の概念	a 健康・疾病の概念 b 先天異常 c 損傷 d 炎症 e 感染症 f 免疫異常 g 肿瘍 h 循環障害 i 代謝障害、萎縮、壊死 j 病的増殖 k 精神・神経疾患 l 放射線の影響
	イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念	a 歯の硬組織疾患 b 歯髓疾患、根尖性歯周疾患 c 歯周疾患 d 不正咬合 e 咀嚼障害 f 摂食嚥下障害 g 先天異常 h 損傷 i 囊胞(歯原性、非歯原性) j 肿瘍、腫瘍類似疾患 k 顎関節疾患 l 口腔粘膜疾患 m 唾液腺疾患 n 口腔・顎顔面領域に症状を伴う全身疾患 o 薬物・放射線による有害事象 p 精神・心身医学的疾患

大項目	中項目	小項目
8 主要な症候 約10%	ア 全身の症候	a 発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、脱水、浮腫、けいれん、めまい、黄疸、呼吸困難、チアノーゼ、頭痛、動悸、息切れ、胸痛、睡眠障害、嘔吐、下痢
	イ 口腔・顎顔面領域の症候	a 一般的症候(疼痛、腫脹、腫瘍、色調の変化、熱感、出血、瘻、硬さの異常、触覚の異常、機能障害(開口障害など)) b 歯の症候(齲歎、硬組織欠損、変色、亀裂、破折) c 歯髄・根尖歯周組織の症候(自発痛、誘発痛) d 歯周組織の症候 e 歯列・咬合の症候(不正咬合) f 口腔粘膜の症候 g 顎骨の症候(形態の異常) h 顎関節の症候(関節痛、関節雜音、運動障害) i 筋の症候(筋痛、圧痛、運動麻痺、関連痛) j リンパ節の症候 k 唾液腺の症候 l 感覚異常(味覚、体性感覚)
	ウ 全身的疾患に関連する口腔・顎顔面領域の症候	a 貧血に伴う症候(舌炎など) b 出血性素因に伴う症候(歯肉出血、抜歯後出血など) c 急性白血病に伴う症候(歯肉出血など) d 後天性免疫不全症候群(AIDS)に伴う症候(カンジダ症、歯周疾患、毛状様白板症など) e ウィルス感染に伴う症候(水疱など) f 結核・梅毒に伴う症候(粘膜斑、潰瘍など) g 金属アレルギーに伴う症候 h 糖尿病に伴う症候(口腔乾燥、歯周疾患など) i 臓器・造血幹細胞移植に伴う症候(歯肉出血、移植片対宿主病(GVHD)など) j 脳血管・神経・筋疾患に伴う症候(摂食嚥下障害など) k 他臓器癌に伴う症候(遠隔転移など) l 認知症患者、要介護高齢者にみられる症候(カンジダ症、口腔乾燥、摂食嚥下障害など)
	エ 薬物に関連する口腔・顎顔面領域の症候	a 歯の変色、歯肉肥大(歯肉増殖)、多形(滲出性)紅斑、抗腫瘍薬による口内炎、菌交代現象(菌交代症)に伴う症候、顎骨壊死、唾液分泌量減少・増加、味覚異常
9 診察の基本 約7%	ア 診察のあり方	a 安全と感染への配慮 b 心理社会的側面(プライバシー、尊厳)・苦痛への配慮 c 自己紹介、患者の確認 d 患者への説明・声かけ・例示
	イ 基本手技	a 視診、触診、打診、聴診 b 患者の体位(立位、座位、半座位、仰臥位、側臥位) c 術者の姿勢・位置

大項目	中項目	小項目
	ウ 医療面接	a 意義、目的(医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加) b マナー(身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応) c 聴取事項(主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望)
	エ 全身の診察	a 全身の外観(体格、栄養、姿勢、歩行、発語) b 意識状態、精神状態、認知機能 c バイタルサイン(呼吸、脈拍、血圧、体温)
	オ 口腔・顎顔面の診察	a 顔貌、顔色、皮膚 b 口腔粘膜 c 所属リンパ節 d 唾液腺 e 顎関節・筋(下顎運動)
	カ 歯列・咬合状態の診察	a 歯列弓の形態・大きさ b 前歯部の被蓋・咬合状態 c 白歯部の咬合状態
	キ 歯・歯周組織の診察	a 歯と修復物の所見 b 歯髓・根尖歯周組織の症状 c 歯周組織の症状
10 検査・臨床判断の基本 約11%	ア 意義と目標	a 診断 b 治療効果の判定、治療経過の評価 c スクリーニング、医療情報の収集
	イ 検査の安全性	a 実施(必要性)の説明 b 患者・検体の確認 c 検査の合併症・リスク
	ウ 基準値と結果の解釈	a 基準範囲の概念 b 生理的変動、異常値と原因 c 性差、年齢差 d 症候・病歴(既往歴、投与薬物)との関連
	エ 検体検査の種類	a 一般臨床検査 b 血液学検査 c 生化学検査 d 免疫血清学検査 e 微生物学検査
	オ 口腔・顎顔面の検査	a 硬組織・歯髓・根管の検査 b 歯周組織の検査 c 顎関節の検査 d 筋の検査 e 唾液腺の検査 f 口腔機能の検査 g 感覚(味覚、体性感覚)の検査

大項目	中項目	小項目
	カ 画像検査	a 放射線の性質と作用 b エックス線撮影装置、検出器、撮影補助器材 c 放射線の防護・管理 d エックス線撮影(口内法、パノラマエックス線検査) e CT(単純、造影)
	キ 病理学検査	a 細胞診 b 組織診
	ク 根拠に基づいた医療 <EBM>	a 意義、患者への適用 b システマティックレビュー、メタ分析<メタアナリシス> c 診療ガイドライン d 臨床疫学的指標(アウトカム、リスク比、オッズ比) e 費用対効果
11 初期救急 約2%	ア 救急患者の診察	a 救急処置を要する症状および病態(心停止、失神、ショック、けいれん、頭痛、運動麻痺、呼吸困難、胸痛、アレルギー症状、誤飲、誤嚥) b バイタルサインの把握 c 意識障害の評価 d 病態の評価と疾患(全身的偶発症を含む)の鑑別
	イ 救急処置	a 一次救命処置<BLS> b 静脈路確保、酸素療法、救急医薬品
12 治療の基礎・基本 手技 約13%	ア 治療の基本	a 意義と目標(アウトカム) b 種類と特性(原因療法、対症療法、保存療法、根治療法、緩和療法) c 治療の場(外来、入院、在宅医療(訪問歯科診療を含む))
	イ 乳幼児・高齢者・妊娠婦・障害者・要介護者の治療	a 治療環境 b 患者の体位 c コミュニケーション d チーム医療
	ウ 器械の安全な取扱法	a 歯科用ユニット b 治療に用いる基本的器材
	エ 消毒・滅菌と感染対策	a 消毒・滅菌法 b 手術野の防湿・消毒、清潔操作 c 手術室 d 標準予防策<standard precautions>
	オ 注射法の種類	a 皮内 b 皮下 c 筋肉内 d 静脈内
	カ 麻酔法	a 局所麻酔 b 全身麻酔 c 精神鎮静法
	キ 創傷の処置	a 洗浄、消毒 b 止血 c 縫合

大項目	中項目	小項目
	ク 膿瘍の処置	a 穿刺、切開、ドレナージ
	ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置	a 抜歯 b 歯の硬組織疾患の治療 c 歯内療法 d 歯周治療 e 歯の欠損の治療 f 不正咬合の治療
	コ 薬物療法	a 薬理作用(薬力学、主作用および副作用を含む) b 薬物動態 c 薬物投与(連用および併用を含む)
	サ 栄養療法	a 経口栄養、経静脈栄養、経管栄養(経腸栄養、胃瘻<PEG>)
	シ 口腔機能のリハビリテーション	a 機能の回復(咀嚼機能、摂食嚥下機能、構音機能) b 口腔機能管理 c コミュニケーションと社会参加
	ス 患者管理の基本	a 口腔環境の評価(口腔清掃状態、補綴装置の清掃状態、残存歯の状態、口腔粘膜の状態、咬合状態、補綴装置の適合状態、頸堤の状態、唾液、味覚) b 全身管理に留意すべき疾患・対象(皮膚・粘膜疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、血液・造血器・リンパ系疾患、泌尿器・生殖器疾患、精神疾患、神経疾患、内分泌疾患、免疫・アレルギー性疾患、感染症、小児疾患など) c 日常生活動作<ADL>の評価
	セ 歯科材料・機器	a 基本的性質 b 診療用器械、切削・研削工具、研磨材 c 印象用材料 d 模型用材料、ワックス e 成形修復・予防填塞・歯内療法用材料 f 歯冠修復・義歯用材料 g 成形技術・機器 h 接着用材料、接着処理 i 歯科矯正用材料 j 口腔インプラント・口腔外科・歯周治療用材料
13 一般教養的事項 約 3 %	ア 医学史、歯科医学史	
	イ 医学・医療に関する人文・社会科学・自然科学・芸術などに関連する一般教養的知識や考え方	
	ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語	